

勝田中等教育学校におけるイマージョン教育について

1 経緯

○ イマージョン教育

- ・ 英語以外の教科の授業を英語を使用して実施することで、言語と教科内容双方の習得を進める教育手法



○**背 景**: 急速に進展するグローバル社会において、複数言語の習得に対する社会的要請の高まり

○**ねらい**: 英語以外の教科の授業を英語で学ぶことを通して、実践的かつ高度な英語力と学びに挑む力を育成するとともに、グローバル化に対応した多文化共生の基盤づくりを推進



勝田中等教育学校におけるイメージョン教育について

2 内容

- 時 期 : 2026年度入学生より実施
- 概 要 :
 - 1、2年次 : 学年全体(105人予定)で、実技科目(体育、音楽、美術、技術・家庭)でイメージョン授業導入
 - ・ 実技科目担当ALTと日本人教員がペアで授業
(調整担当教員の配置を検討)
 - 3～6年次 : 希望者によるイメージョンコースの編成
(最大35人予定)
 - ・ 県内の県立高校等で初の取組
 - ・ 実技科目以外への拡充、教科の免許をもった
ネイティブ教員の活用等を予定

3 今後のスケジュール

2025年10月11日(土)	勝田中等教育学校における説明会で説明
2026年1月10日(土)	入学者選抜は従前の通り実施



勝田中等教育学校概要

○令和3年度開校

- ・現在、5年次生まで在籍

○グローバル教育、英語教育の取組

- WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業（令和6～8年度指定） ※文部科学省委託事業

- ・県内初の拠点校に採択
- ・世界標準の英語力やリーダーシップなどの育成を図る取組

- GCP（グローバル・コンピタンス・プログラム）

- ・1～3年次を対象に週に1時間「総合的な学習の時間」で実施
- ・「英語を学ぶ」のではなく、「英語で学ぶ」環境に慣れることで、自然に高い英語力を身につける

- 海外留学制度を完備

